

妙昌寺(東松山市)









## 日蓮供養板石塔婆

昭和四十年三月十六日県指定有形文化財

この板石塔婆は当時の日願が貞和二年（一三四六年）、宗祖日蓮上人の六十五年忌に二十六人の結衆と共に、上人の供養のため建立したものです。高さ一六〇センチ、幅四〇センチの塔婆で、日蓮宗独得の文字になる前の謹厳な特徴のある文字で書かれています。当地における日蓮宗の普及等を知る歴史資料としても重要なものです。

### 銘文

十方仏土中 右志者為日蓮大

南無多宝如来（蓮座）唯一乘法 聖人六十五年忌

南無妙法蓮華經（蓮座）貞和二年丙戌十月十三日

南無釈迦牟尼仏（蓮座）無二亦無三 辰相当僧日願

除仏方便説 一結衆廿六人敬白

## 妙昌寺板石塔婆

昭和三十八年二月八日市指定有形文化財

この寺には日蓮宗関係の板石塔婆が十数基あります。その中で、文明十三年（一四八一年）建立のものは、高さ一三四センチ、幅四一センチあり、典型的な日蓮宗の板石塔婆で、独得のひげ文字で、お曼荼羅が刻んであります。守り本尊である鬼子母神と十羅刹女も刻まれています。このように鬼子母神まで刻んだものは日蓮宗の題目板碑の中では珍しいものです。

## 日蓮上人祖師像

昭和五十五年一月十日市指定有形文化財

妙昌寺は日蓮上人ゆかりの寺で、かつては青島城の付近にあったと伝えられ、山号も青島山といい、開山は日蓮上人の高弟日仙で弘安四年（一二八一年）の創草と当寺の縁起にあります。

像高六八、五センチの檜材寄木造りで、お姿は紫衣に袈さをまとい、左手首に念珠を、両手で経巻を持ち、骨座の上に坐しています。像本体にも法衣や袈さが刻まれています。室町期のもものと推定され、県内では等身大のものとしては数少なく貴重なものです。

これらの他に、当寺には貴重な「瓦塔」（昭和三十四年五月十日市指定）もあります。

昭和五十六年三月

東松山市教育委員会

文化財を大切にしましょう

埼玉県考古資料他の板石塔婆群



前列中央が日蓮供養 題目板碑/県指定文化財/南北朝時代前期 貞和二年 1346年/緑泥片岩



日蓮供養 題目板碑



前列右手の題目曼荼羅板碑(市指定文化財)口





前列左手の板碑









南無妙法蓮華經  
法華經  
南無妙法蓮華經  
法華經

奉  
贈  
蒲  
香  
百  
四  
十  
次



南無妙法蓮華經未<sup>計</sup>詳<sup>詳</sup>歴<sup>歴</sup>南無高祖目蓮大菩薩御報恩謝徳夫当山

春陽滿





参道入口付近の石造物



















